

南阿蘇鉄道全線復旧に向けた協議会設立に関するお知らせ

南阿蘇鉄道再生に向け…

地域住民の生活の足となっていた南阿蘇鉄道。現在、部分運行をするこの鉄道の状況を地域の皆さんにお伝えします。

南阿蘇鉄道高森線は、平成28年4月に発生した熊本地震で、犀角山全体が大きく動いたことにより、トンネルや渓谷に架かる橋りょうが移動・変形し、鉄道施設に甚大な損傷が発生しました。

被災した構造物を復旧するためには、地盤の動きや地質の調査、大きく損傷したトンネル、橋りょうの状況に係る詳細な分析など、被害状況に関する調査が国直轄で実施され、平成29年4月16日（日）に調査結果が（下表参照）公表されました。

南阿蘇鉄道の復旧にあたっては、地域公共交通としての役割・機能、観光圏・広域周遊ルートにおける位置づけなどを踏まえ、当該鉄道路線を将来にわたり、復興後の南阿蘇地域の地方創生に資するものとする必要があります。このため、県と地域ぐるみで南阿蘇鉄道の復興を進することを目的に4月28日（金）、「南阿蘇鉄道再生協議会」が設立されました。

今後、協議会にて全線復旧・復興に向け、鉄道の支援及び利活用促進などの施策検討に関し、必要な協議が行われます。

	被災箇所	復旧見通し（設計・工事期間）	復旧費用（概算）
立野～長陽	第一白川橋りょう	設計着手から5年程度	約40億円
	犀角山トンネル	設計着手から3年程度	約20～25億円
	戸下トンネル	設計着手から1年程度	約5億円
	立野橋りょう		
	擁壁の損傷・斜面の崩壊など（18箇所）		
長陽～中松	軌道の変状など（20箇所）	合 計	約65～70億円

▲南阿蘇鉄道の復旧調査結果（抜粋）国土交通省ホームページより
※今後の詳細設計などにより、工期や費用などについて精査される予定。



▲会長に田嶋徹副知事が就任
(南阿蘇鉄道再生協議会)

5月2日（火）、南阿蘇鉄道を軸とした地域公共交通網全体の長期的なビジョンの策定に必要な協議を行う場として、「南阿蘇鉄道沿線地域公共交通活性化協議会」が設立され

ました。協議会では、設立趣旨の説明や規約制定、会長の選任が行われ、会長に東海大学の渡辺千賀恵名誉教授、副会長に、草村町長と吉良南阿蘇村長が就任しました。



★新設・パークゴルフ教室のご案内



子どもから高齢者まで楽しめる生涯・コミュニティースポーツ。楽しく運動することにより、介護予防にも効果が期待できます。大自然のコースを約7,000m～8,000歩で歩き、良い運動になります。

初心者大歓迎です。是非、ご参加ください。

日時：第3土曜日 午前9時から正午まで
場所：月廻り公園パークゴルフ場
料金：大人（高校生以上）500円
小・中学生 200円
道具等もありますので、気軽に
お越しください。



高SPO事務局
☎ 62-2991

高SPOはスポーツ振興
くじ（ヒトモノ）の助成
を受けた事業です。

※スマートフォンからでも閲覧可能です。
WEBページもぜひご覧ください！

<http://www.takaspo.jp/>